



アーカイバー【archiver】データファイルの管理保存のためのコンピューターソフトウェア。特に、大きなファイルを圧縮するためのソフトウェアをいうことが多い。

アーカイブ【archive】①大規模な記録や資料のコレクション。デジタルデータ化しての保存と世界的な相互利用が図られている。②デジタル化されたデータを圧縮する技術や方法。より少ない情報量でデータの転送・保存を行うことができる。▷古文書、公文書館の意。㊦保存記録／記録保存館

アーガイル【argyle】2色以上の菱形の格子の上に斜め格子を重ねた(編物の)柄。アーガイルチェック。▷スコットランドの地名から。

アーキテクチャー【architecture】①建築。建築学。建築様式。②構造。構成。組織。③コンピューターを機能面から見たときの構成方式。記憶装置のアドレス方式、入出力装置の構成方式などをさす。

アーキテクト【architect】建築家。建築士。設計者。計画立案者。製作者。

アーク【arc】アーク放電の際、両極間に発生する光の弧。

アーケード【arcade】①連続したアーチを列柱で支える構造物。また、列柱に囲まれ、アーチ形の天井をもった空間。②商店街などの通路上部に、屋根をつけた施設。

アーケードゲーム【arcade game】ゲームセンターなどに設置されているゲーム機の総称。テレビゲーム・ピンボール・クレーンゲーム・メダルゲームなど。業務用ゲーム。

アース【earth】電気機器と地面とを銅線などの導体でつなぐこと。また、その導体。機器の電位が異常に上昇することを防いだり、雑音を低減したりする。接地。▷地球・大地の意。

アースカラー【earth color】褐色などの、大地を思わせる色。

アーチ【arch】①弓形に積み上げた石や煉瓦(煉瓦)などによって上部の荷重を支える構造。窓・門・橋桁(桁)などにみられる。②祝賀会・運動会などで仮設される門。上部を弓形にし、常緑樹の葉でおおう。③円弧。弓形。④野球で、ホームラン。

アーチェリー【archery】①西

洋式の弓術。また、それに用いる弓。洋弓。②洋弓を用いるスポーツ。標的をねらい射って、得点を争う。ターゲット競技やフィールド競技などの種目がある。

アーティキュレーション【articulation】①発音の明瞭度。歯切れ。②音楽の演奏において、各音の切り方、あるいは次の音との続け方のこと。演奏上、フレーズ内部の分節を明確にする表現手段として重要。レガート・テヌート・スタッカートなど。

アークティクル【article】①新聞や雑誌の記事・論説。②法令や契約の条項。

アーティスティック【artistic】芸術的なさま。優雅なさま。趣のあること。

アーティスティック スイミング【artistic swimming】**新**音楽に合わせて水中でさまざまな演技を行い、その美しさや技術を競う競技。ソロ(一人)・デュエット(二人)・チーム(団体)などの種目がある。旧称、シンクロナイズド・スイミング(シンクロ)。2017年より国際水泳連盟(FINA)が現名称に変更。

アーティスト【artist】芸術家。特に、美術家・演奏家をいうことが多い。▷アーティストとも。

アーティチョーク【artichoke】キク科の多年草。地中海沿岸原産。夏、アザミに似た大

きな紫色の頭花をつける。若い花の花托(かた)と萼(が)の肉質部を食用にする。

アーティフィシャル【artificial】人工的であるさま。人為的。不自然。→ナチュラル①

アート【art】①芸術。美術。②「アート紙」の略。印刷用紙の一種。鉱物性の白色顔料と接着剤などを混ぜた塗料を塗り、光沢機にかけて滑らかで緻密な紙面にした洋紙。再現性がよく、写真版印刷などに広く用いる。

アート ディレクター【art director】①映画・演劇などで、衣装・舞台装置・照明などを指導する人。美術監督。②広告製作で、デザイン・コピーなどを総合的に企画・決定し、製作する人。

アート フラワー【和製 art+flower】生花を模して丁寧につくられた造花。

アートメイク【和製 art+make】専用の針を用いて、眉・目の周辺・唇などの表皮下0.01ミリメートルの部分色素で染める美容法。効果は数年ほど持続し、洗っても落ちない。アートメイク。パーマメント・メイクアップ。▷英語では permanent makeup、permanent cosmetics。

アートロック【art rock】1960年代後半に登場した、芸術的要素が強調されたロック音楽

のスタイル。

アートワーク【artwork】①芸術作品。アート・ピース、アート・オブジェクトとも。②音楽のパッケージなどに表示する図版。

アーバン【urban】都市の。都会の。都会風の。

アービトラージ【arbitrage】市場間の価格差を利用して利益をあげる経済行為。その結果として両市場の価格差は縮小する。裁定取引。

アーミー【army】軍隊。特に、陸軍。

アーミー ナイフ【army knife】小刀のほかに、はさみ・栓抜き・缶切り・ワイン・オープナーなどの機能を持つ部品を組み込んで、一つにまとめた折り畳み式ナイフ。

アーミールック【army look】軍隊・軍服風の服装やスタイル。ミリタリー・ルックともいう。

アーム【arm】腕。また、本体から腕状に出ている部分。

アームカバー【arm cover】日焼けを防ぐなどの目的で、手首あたりから腕全体を覆う筒状の衣類。

アームバンド【armband】①ワイシャツやブラウスの袖(そで)をたくし上げるための、装飾性のあるバンド。腕バンド。また、腕章。②情報機器(音楽プレーヤーや携帯電話など)を携帯するために

腕につける、ホルダー付きのバンド。

アーム レスリング【arm wrestling】腕相撲(むすぶず)。

アーメン【amen】キリスト教徒が祈禱(きと)・賛美歌・信条告白の終わりに唱える言葉。アメン。▷ヘブライ語で、まことに、たしかに、の意。

アーモンド【almond】バラ科の落葉高木。アジア西部の原産とされる。全体がモモに似ているが果実は平たく、果肉が薄い。仁(こ)に苦みのあるものは薬用、ないものは食用にする。アマンド。アモンドー。巴旦杏(ばたんきょう)。▷「扁桃」とも書く。

アーモンド プードル【和製 英 almond+粉(こな) poudre】アーモンドの粉末。菓子などの材料にする。アーモンド・パウダー。アマンド・プードル。

アーモンド ミルク【almond milk】水に漬けたアーモンドをすりつぶして漉こした乳状の液。飲料や料理の材料にする。

アーリー【early】早い。初期の。

アーリー アクセス【early access】**新**開発中のソフトウェアを、正式版の公開よりも前に提供すること。または、ユーザーがそのサービスを利用すること。開発中のゲームを有償で提供する場合など。早期アクセス。

アーリー アダプター【ear-

ly adopter】イノベーター理論の用語。新たに現れた革新的商品やサービスなどを比較的早い段階で採用・受容する人々。イノベーター理論の5つの顧客層のうち、イノベーター(革新的採用者)の次に受容する人々。常識的な価値観をもつ一方、新しい価値観や様式にも敏感だとされる。早期採用者。初期採用者。初期少数採用者。→アーリー-マジョリティー・レイト-マジョリティー・ラガード

アーリー アメリカン【Early American】アメリカの英領植民地時代・開拓時代の建築や家具などの様式。

アーリー チェックイン【early check-in】ホテルなどで、規定のチェックイン-タイムより早く宿泊手続きをすること。その分の料金が加算されることが多い。→レイト-チェックアウト

アーリー マジョリティー【early majority】イノベーター理論の用語。新たに現れた革新的商品やサービスなどを比較的追隨的に採用・受容する人々。イノベーター理論の5つの顧客層のうち、アーリー-アダプター(初期採用者)の次に受容する人々。新しい価値観や様式の受容に慎重とされる。前期追隨者。初期多数採用者。→アーリー-アダプター・レイト-マジョリティー・

ラガード

アーリー リタイア【early retirement】早期の引退。

アーリオ オーリオ【^{イタリア}aglio olio】ニンニクをオリーブ-オイルに入れ、弱火で加熱して香りと風味を移したもの。パスタなどに用いられる。▷アーリオはニンニク、オーリオは油の意。

アール【^{フランス}are】メートル法の面積の単位。1アールは100m²。約30.25坪。約1畝(≒)。記号a

アール グレイ【Earl Gray】ベルガモット油で風味づけをした紅茶の商品名。独特の香りがあり、アイス-ティーなどにされる。▷イギリスのグレイ伯爵が紹介したことから。アールは伯爵の意。

アール デコ【^{フランス}art déco】1910年代から30年代にかけて、パリを中心に西欧で栄えた装飾様式。それ以前のアール-ヌーボーが曲線を主とするのに対し、現代都市生活に適した実用的で単純・直線的なデザインを特徴とする。1925年様式ともいう。▷arts décoratifsの略。装飾美術の意。

アール ヌーボー【^{フランス}art nouveau】19世紀末から20世紀初頭、ヨーロッパ各国の建築・工芸・絵画などの諸芸術に流行した様式。モチーフを主に植物の形態に借り、曲線・曲面を用いて

装飾的・図案的に表現した点に特徴がある。▷新芸術の意。

アール ブリュット【^{フランス}art brut】理性が関与しない芸術作品の意。芸術家ではなく、幼児や精神障害者が自分自身のためにつくった表現物の総称。原生芸術。▷フランスの芸術家デュビュッフエ(Jean Dubuffet [1901~1985])の用語。→サバン症候群

アイ【eye】目。また、目の形をしたもの。目の機能をもつもの。他の語と複合して用いられる。

アイアール【IR】(information retrieval)ある目的のために収集・蓄積した膨大な情報を体系的に整理し、必要に応じて希望する情報を迅速にとり出すこと、あるいはその方法。情報検索。

アイアン【iron】①鉄。②ゴルフで、ボールをたたくヘッドの部分が金属製のクラブ。→ウッド

アイダ【Aida】ベルディ作曲のオペラ。4幕。エジプトにとらわれたエチオピア女王アイダとエジプトの将軍ラダメスとの悲恋物語。スエズ運河の開通を記念して1871年カイロで初演。

アイオーエス【iOS】アップル社が提供する、スマート-デバイス用の基本ソフト。商標名。

アイギス【^{ギリシア}aigis】ゼウスとアテナの持ち物の一つ。アテナのそれは、肩から羽織られる小さい肩

掛けもしくは胸当てに似、普通多数の蛇の房で縁取られ、うろこ状の地の中央にゴルゴンの首をもつ。

アイグロス【eye gloss】^新新^{化粧}化粧に塗り、光沢と色味を与える化粧品。

アイゴ 悲しいときや悔しいとき、また、痛いときなどに発する感嘆詞。▷朝鮮語。

アイコニック【iconic】象徴的な。「ブランドの—なモチーフをあしらう」

アイコン【icon】コンピューターに与えるコマンドを記号や図形で画面上に表示したもの。その部分をマウスなどで指定・操作してコマンドを実行させる。→GUI

アイコンタクト【eye contact】①相手の目を見たり、視線を交わすこと。意思や態度などを相手の目を見ることによって伝達しようとする。②サッカーで、連携した動きを行うために、選手どうしが目と目を合わせて意思の疎通を図ること。

アイサイト【eyesight】視力。視覚。視界。視野。

アイシャドー【eye shadow】目元に陰影をつけるために、まぶたに塗る化粧品。

アイシング【icing】①粉砂糖・バター・卵白などを泡立て、菓子類の表面にかぶせるもの。糖衣。

②着氷。③アイス-ホッケーで、レッド-ラインの手前から打ったパックが直接相手のゴール-ラインを越えること。アイシング-ザ-パック。④筋肉を氷で冷やすこと。

アイススレッジレース【Ice sledge racing】下肢障害者が小型そり(スレッジ)に座った状態で氷上を滑り、そのスピードを競うレース。両手にスティックを持ち、氷をかいて移動する。アイス-スレッジ-スピード-レース。

アイスダンス【ice dance】フィギュア-スケートの一部門。男女一組で、音楽に合わせて氷上を踊るように滑走し技術や芸術性を競う。

アイスバーン【^{ドイツ}Eisbahn】雪面が凍結して氷のようになった場所。特に、凍結により摩擦係数が小さくなった路面。

アイスバイン【^{ドイツ}Eisbein】ドイツ料理の一。塩漬けにした豚の脚を煮込んだもの。

アイスプラント【ice plant】ハマミズナ科の多肉植物。葉の表面についている氷の粒のような細胞に塩分が含まれる。食用に栽培する。▷葉の表面が凍ったようにみえることから。

アイスブレイカー【icebreaker】①氷を砕くためのもの。砕氷器や砕氷船。②研修やセミナーなど初対面の人が集まる場で、

互いの緊張をほぐすために行うプログラム。自己紹介や簡単なゲームなど。アイスブレイク。アイスブレイキング。→ファシリテーション

アイゼン 登山靴の底につける、とがった爪をもつ滑りどめの金具。クランポン。▷シュタイクアイゼン(^{ドイツ}Steigeisen)の略。

アイソスタシー【isostasy】地殻が、密度のより大きいマントルの上に浮かんでいる状態にある、という現象のこと。海水に浮かぶ氷山のように、高い山の地殻は地下深くまで厚く、海底の地殻は薄くなっている。

アイソタイプ【isotype】①(International System of Typographic Picture Education) 視覚言語。絵文字言語。地図・統計図表・標識などに用いられる図形や記号。②同種の個体中に共通に存在し、構造が異なる抗原。

アイソトープ【isotope】同一の元素に属し(すなわち、原子番号が等しく)、質量数が異なる原子。同位体。同位元素。

アイソトニック【isotonic】等張。等張性。

アイソメトリックス【isometrics】重い物を動かそうとするときに、関節などの角度を一定にしたまま筋肉を一定時間緊張させて筋力を高めるトレーニング法。

アイソレーション【isolation】分離。隔離。孤立。

アイデアソン【^{英語}idea son】アイデアを構想するイベント。短時間(1日ないし数日以内)で集中的に、テーマとなるアイデア(課題の解決法や新ビジネスなど)を構想する。グループごとに構想を競い合う形式が多い。→ハッカソン▷アイデア(idea)とマラソン(marathon)の合成。

アイデア【idea】①思いつき。着想。アイデア。②哲学で、観念。理念。→イデア

アイティー【IT】⇒IT

アイディーカード【ID card】⇒IDカード

アイテム【item】①商品の品目。ファッションで、服の種類。②ビデオ-ゲームの中で利用する武器や道具。▷事項、項目の意。

アイデンティティー【identity】①物がそれ自身に対し同じであって、一個の物として存在すること。自己同一性。同一性。個性。②人間学・心理学で、人が時や場面を越えて一個の人格として存在し、自己を自己として確信する自我の統一をもっていること。自我同一性。主体性。同一性。③コンピューターで、一致。識別。⊕独自性/自己認識⇒よくわかる「アイデンティティー」の意味と使い方(p.9)

アイデンティファイ【identi-

fy】同一の人、または物であることを確認すること。同定。

アイトラッキング【eye tracking】眼球の動きを追跡すること。またその技術。視線がどこに向かっているかなどを分析する。

アイドリング【idling】機械・自動車などのエンジンに、負荷をかけず低速で空転させること。暖機運転。

アイドリングストップ【和製 idling+stop】荷物の積み降ろしや停止信号での停車時などに自動車のエンジンを停止させること。⊕停車時エンジン停止

アイドル【idle】名詞に付いて、「活動していない」「遊んでいる」などの意を表す。

アイドル【idol】①偶像。崇拜される人や物。②人気者。

アイドル水 緑茶にレモン果汁と糖分を加えた飲料。K-POPアイドルの間で流行ったことからいわれる。

アイドルタイム【idle time】①無作業時間。遊休時間。生産施設が稼働せずに労働力が空費されている時間。②流通のなかでの、物資の待機時間。

アイヌモシリ 人間が住む所。アイヌの大地。▷アイヌ語。

アイパッド【iPad】アメリカのアップル社が開発・製造するタブレット端末。2010年発売開始。

商標名。
アイバンク【eye bank】角膜の移植を仲介する機関。眼球提供者の登録、眼球の摘出・保存などを行う。角膜銀行。

アイビー【ivy】①蔦(つた)類の総称。②ウコギ科の常緑つる性木本。ヨーロッパ原産。庭園などに栽培され、斑(ふ)入りなど変種が多い。

アイフォーン【iPhone】アメリカのアップル社が開発・製造するスマートフォン。2007年発売開始。商標名。

アイブロー【eyebrow】①まゆ。まゆ毛。②アイブローペンシルの略。鉛筆状のまゆ墨。▷アイブラウトも。

アイボリー【ivory】①象牙(ぞう)。(ぞう)。②象牙色。アイボリーホワイト。③光沢のある淡いクリーム色の厚手の洋紙。

アイマスク【eye mask】飛行機の機内などで、明るさを避けて、眠るために使う目かくし。

アイマックス 【IMAX】
 ⇨IMAX

アイライナー【eyeliner】アイラインを入れるための化粧品。鉛筆状のものと液状のものがある。

アイラッシュカーラー【eyelash curler】まつげを上向きにカールさせる道具。ビューラー(商標名)。

アイランド【island】島。
アイランドキッチン【island kitchen】壁から離れたところに独立した作業台を設置した台所。作業台に流し台やコンロを配置することもある。▷島のように見えることから。

アイリス【iris】①アヤメ科アヤメ属の植物の総称。また、園芸種のアヤメ属。②カメラのレンズの絞り。虹彩(にじ)絞り。③虹彩。眼球の角膜と水晶体の間にある輪状の薄い膜。中央の孔が瞳孔(とら)で、虹彩中の平滑筋の伸縮によって瞳孔の開きを調節して、眼球内に入る光の量を調節する。色素に富み、その色合いは人種ごとに特徴がある。また、個人によってそのパターンは異なる。

アイリッシュ【Irish】「アイルランドの(人)」の意。

アイロニー【irony】①皮肉。あてこすり。また、皮肉を含んだ表現。風刺。②実際とは反対のことを言って、暗に本当の気持ちを表現した言い方。反語。③哲学用語。知者を自認する相手を見つめ、無知の自覚を促す、ソクラテス的問答法の一性格。

アイロニカル【ironical】皮肉を含んでいるさま。皮肉な。反語的。アイロニック。

アイロン【iron】①熱・水分・圧力の効果によって、衣服などのし

よくわかる「アイデンティティー」の意味と使い方

詳しい意味は？

アイデンティティー(identity)は、広義には、「同一性」「個性」「国・民族・組織などある特定集団への帰属意識」「特定のある人・ものであること」などの意味で用いられます。コンピューター関係で用いられるときは、「一致」「識別」のことです。

学術用語としての定義は、哲学分野では、「ものがそれ自身に対して同じであって、一個のものとして存在すること」です。心理学・社会学・人間学などでは、「人が時や場面を越えて一個の人格として存在し、自己を自己として確信する自我の統一を持っていること」と説明され、「本質的自己規定」をさします。

どんな経緯でこの語を使うように？

哲学分野では概念規定の用語として用いられていましたが、アメリカの精神分析医 E. H. エリクソン(1902～1994)が唱えた「アイデンティティー」の概念は、心理学のみならず社会学や精神医学などの学術領域で広く用いられ、さらに一般にも浸透しました。日本では、この精神分析学・心理学の用語として入ってきて、アメリカと同様に一種の流行語のように広まりました。

実際の使われ方は？

【アイデンティティークライシス(identity crisis)】「自己認識の危機」のことです。例えば、「成長過程でアイデンティティークライシスに直面する時期」、あるいは「グローバル時代におけるアイデンティティークライシス」のように使われます。

【ブランドアイデンティティー(brand identity)／コーポレートアイデンティティー(corporate identity)】 日本では、和製カタカナ語で「ブランドイメージ」と言われていたものに近い概念です。一方、コーポレートアイデンティティーは、「CI」と略されることが多く、ロゴマークや企業イメージ統一戦略のように思われがちですが、漢字で表現すると正確には「企業理念」となります。

わを伸ばし、形を整える器具。②髪にウェーブを出すための調整用のこて。▷鉄の意。

アウェー【away】①サッカーなどで、相手チームの本拠地。→ホーム(home)④②場違いに感じられる状況。「一感」

アウスレーゼ【^{ドイツ}Auslese】完熟の精選したブドウで造るドイツ産ワイン。

アウト【outer】①「外部の」「外側の」の意。②アウトターウェアの略。上着類の総称。→インナー

アウト【out】①他の外来語の上に付いて、外側・外部などの意を表す。→イン(in)①②テニス・卓球などで、規定線の外側。また、球がその側に出ること。→イン(in)②③野球で、打者または走者が攻撃の資格を失うこと。→セーフ②④ゴルフで、1ラウンド18ホールのコースの前半の9ホール。→イン(in)③

アウトカム【outcome】結果。成果。特に、行政による事業を評価する際に、どれだけ目的を果たしたかを表すときに用いられる。

アウトカメラ【和製 out+camera】携帯電話やスマートフォンで、ディスプレイとは逆の面にレンズがあるカメラ。通常の撮影に用いる。→インカメラ

アウトサイダー【outsider】①社会の既成の枠組みからはずれ

て、独自の思想をもって行動する人。局外者。異邦人。②生産協定・賃金協定などに参加していない同業者。→インサイダー

アウトサイド【outside】①外側。外面。②外部。③野球で、本塁上の、打者から遠い方の側。→インサイド

アウトソーサー【outsourcer】アウトソーシングにおける、受託側の企業のこと。

アウトソーシング【outsourcing】①業務を外注すること。特に、情報通信システムの設計・運用・保守を企業外の専門業者に全面的に委託すること。資源の有効活用、費用の削減をめざして行われる。②海外で部品を安く調達すること。国際調達。海外部品調達。▷アウトソース・アウトタスキングとも。○外部委託

アウトドア【outdoor】戸外。野外。→インドア

アウトバーン【^{ドイツ}Autobahn】ドイツの高速自動車専用道路。ヒトラーが第二次大戦に備え、建設を始めた。原則として速度制限はなく、大型トラックのみ有料。

アウトバウンド【outbound】①航空機・船舶で、外国に向かう便。②インターネットで、自社のウェブサイトに潜在的な顧客を誘導すること。③コールセンターの業務で、発信のこと。▷中

から外に出る意。→インバウンド

アウトプット【output】①内部に入っているものを外に出すこと。特に、コンピューターのデータを外部に取り出すこと。出力。②産出。産出量。→インプット

アウトブレイク【outbreak】暴動・戦争などの勃発。感染症・害虫などの大発生。また、感情などの爆発。

アウトライン【outline】①物の外側の線。輪郭。②あらまし。あらすじ。大要。

アウトラインフォント【outline font】フォントの形式の一。文字の形を輪郭線(アウトライン)で滑らかに表したフォントのこと。ベクトルフォント。

アウトリーチ【outreach】①学習したいという意欲をもっていない人たちに学習の機会を与え、学習に対する要求や行動を誘発しようとする活動。②芸術に接する機会や関心がない人々に対し、芸術への興味と関心をもたせるために芸術家・企画者側から働きかけるさまざまな活動。▷広げる・伸びる意。

アウトリガー【outrigger】①カヌーなどで、舷側(げんがわ)から張り出した腕木。先端に浮き木を付ける。②はしご車・クレーン車などの安定脚。

アウトルック【outlook】景色。

見晴らし。展望。見通し。**アウトレンジ**【outrage】①(侮辱や非道に対する)激怒。憤怒。②(法や秩序などの)暴力的な侵害。乱暴。暴力。▷アウトレンジとも。

アウトレット【outlet】①出口。放出口。②メーカーや卸業者が、在庫品などを処分するため、倉庫や直営店で価格を下げた販売すること。また、そのように販売される商品。

アウトレットモール【outlet mall】アウトレットストアが集まったショッピングセンター。

アウトロ【outro】ポピュラー音楽で、楽曲の終わりの部分。イントロ(序奏)に対していう。

アウトロー【outlaw】法律を無視する人。無法者。無頼漢。

アウフヘーベン【^{ドイツ}Aufheben】ヘーゲル弁証法の根本概念。あるものをそのものとしては否定するが、契機として保存し、より高い段階で生かすこと。矛盾する諸要素を、対立と闘争の過程を通じて発展的に統一すること。揚棄(きよ)。止揚(とぎやう)。

アウラ【^{ラテン}aura】①物体から発する微妙な雰囲気。オーラ。②癲癇(てんかん)発作に先行して現れる、運動・知覚・自律神経などの異常症状。前兆。

アオザイ【^{ベトナム}ao dai】ベトナムの女性の着る伝統衣装。裾から